

# 事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	消防本部
	09012-1	防災施設整備補助金	室名	消防総務室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	05:防災力の強化	務	款 消防費
施策体系	施策の方向	05:消防力の充実・強化	科	項 消防費
	戦略プロジェクト		目	目 消防施設費

② 目的・概要	対象	市民
	目的	自治会が設置する消防用設備(消火栓ボックス等)の新設及び更新に係る経費の一部を補助することにより、火災発生時における自治会の初期消火対応力の向上を図ることを目的とする。
概要	「亀山市自治会が設置する消防用設備に対する設置費補助金交付要綱」に基づき、その経費の3分の2以内の補助金を交付する。	

		27年度	28年度
①	名称	消防用設備設置申請自治会数	計画値
	補足		実績値
②	名称	消防用設備設置費交付数	計画値
	補足		実績値
③	名称		計画値
	補足		実績値
④	名称		計画値
	補足		実績値

年度計画				年度実績				
				古厩自治会他8自治会				
④ 事業の計画・実績	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	366
		国庫支出金				一般職員人件費 ②	366	平均給与額×③
		県支出金				所要人員 ③	0.05	
		地方債				臨時職員人件費 ④		
		その他				受益者負担額 ⑤		
		一般財源		1,500	1,374	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
		再掲	翌年度への繰越額					
			前年度からの繰越額					
			総人件費			①	366	
			総コスト			⑥	1,740	

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	9自治会に対して、火災発生時の初期消火に大きな効果を上げている消防用設備の補助金を交付することで、地域の初期消火対応力の向上につながった。	総合判定
			<b>B</b> まずまず進んだ

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	1自治会当たりの補助金交付額が前年度の倍以上となり、一部の自治会において、経年劣化した消防ホースをはじめ既設消防用設備の更新が着実に進む一方で、補助金申請自治会数が前年度の約半数となり、各自治会における初期消火に対する認識の差が顕著になった。また、新設については2自治会5設備にとどまった。
	【改善の方向性】	未設置自治会に対して、あらゆる機会を通じて初期消火の重要性と消防用設備設置の必要性の認識を高める。また、既設消防用設備について、各自治会が消防ホースを定期的に更新するなど、適切な管理をするよう働きかけることにより、地域の初期消火対応力の維持・向上を図る。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 消防総務室長 豊田 達也
--------------	---------	-----------------------